

4-5-3 施工監理計画

カンボディア保健省と日本法人コンサルタント会社はコンサルタント契約を締結し、本計画の詳細設計及び施工監理業務を実施する。

施工監理の目的は、工事が設計図書どおりに実施されているかを確認し、工事契約内容の適正な履行を確保するために公正な立場に立って、施工期間中の指導・助言・調整を行い品質向上を図ることにあり、次の業務からなっている。

(1) 入札及び契約に関する協力

建物建設工事及び機材工事の工事請負業者決定のために必要な入札図書等を作成し入札公告・入札参加願の受理・資格審査・入札説明会の開催・入札図書の配布・応札書類の受理・入札結果の評価等の、入札業務を行い、カンボディア保健省と落札した工事請負業者との工事契約締結に係る助言をする。

(2) 工事請負業者に対する指導・助言・調整

施工工程、施工計画、建設資機材調達計画、医療機材調達・据付計画等の検討を行い工事請負業者に対する指導・助言・調整を行う。

(3) 施工図・製作図等の検査及び承認

工事請負業者から提出される施工図・製作図・書類等を検討し、必要な指示のうえ承認を与える。

(4) 建設資機材・医療機材の確認及び承認

工事請負業者が調達しようとする建設資機材・医療機材と工事契約図書との整合性を確認し、その採用に対する承認を与える。

(5) 工事検査

必要に応じ、建築用部品及び医療機材の製造工場における検査、工事試験に立会い、品質及び性能が確保されていることを確認する。

(6) 工事進捗状況の報告

施工工程と施工現場の状況を把握し工事進捗状況を両国関係機関に報告する。

(7) 完成検査および試運転

建築および建築付帯設備、医療機材の竣工検査及び試運転検査を行い、工事契約図書に記載された性能が保障されていることを確認して、検査完了書をカンボディア側に提出する。

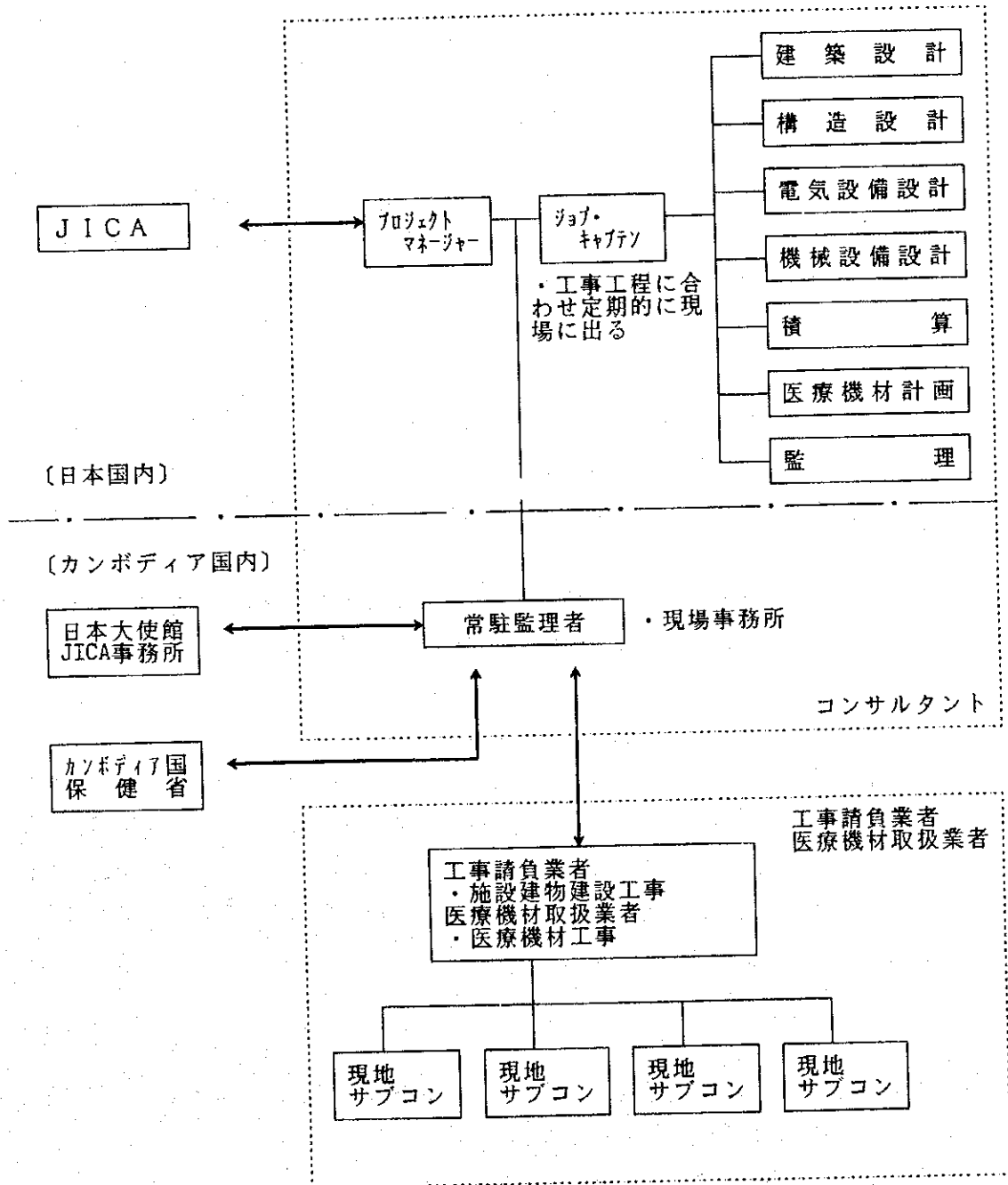
(8) 施工監理体制

コンサルタントは上記の業務を遂行するに当たり本計画の規模から判断し、工事の進捗に応じ、各専門分野の技術者を現場に派遣し、必要な協議・検査・指導・調整を行う。基礎及び躯体工事期間は構造担当・建築担当各1名、仕上工事期間は建築担当・機械設備担当・電気設備担当・医療機材担当を各1名を基本とし、その他必要に応じて現地に派遣できる体制を整えておく。日本国内側にも担当技術者を配置し現地との連絡業務及びバック

アップ体制を確立する。また、日本国政府関係機関に本計画の進捗状況・支払手続・竣工引渡し等に関する必要諸事項の報告を行う。

施工監理体制は、日本国内およびカンボディア国内に図4-5-3のような組織を作っている。

図4-32 施工監理体制の組織図



4-5-4 資機材調達計画

(1) 資機材調達の方針

本計画は母子病院施設の建設であるから、その施設目的に合致するように、清潔さを保ち、清掃しやすくしかも堅牢な資機材の調達を行うものとするが、その留意事項は次のとおりである。

1) 現地調達

施設竣工後の修理、維持・管理を容易に行うため、使用する資機材は可能な限り現地調達とするが、品質や供給量の確認を行って、工事工程に影響を及ぼさないよう配慮する必要がある。

なお、輸入品であっても同国市場で自由に入手し得るもの（発注を受けて輸入手続きをとらずとも恒常的に市場に出回っているもの）もローカル製品とみなされると、判断されていることから現地調達扱いとする。

2) 輸入調達

現地で入手不可能、要求品質を満たさない、供給量が不十分と判断される資機材については、日本または第3国からの輸入調達とする。この場合、工事請負業者は輸入・通関に関し、カンボディア保健省と連絡を取り、諸手続が円滑に行われるよう手配する必要がある。

また、日本または第3国における価格+梱包輸送費と現地購入価格との比較で、日本または第3国から持ち込んだ方がはるかに安くなる場合も輸入調達と考えられる。

3) 輸送計画

日本から輸入調達する資機材については、一度シンガポールまで輸送し、そこで船を積み替えてカンボディア国プノンベン迄海上輸送し、港から母子病院現地までの内陸輸送は貨物自動車を利用する。また、タイ等の第3国からの輸入についても陸路は治安上の問題からプノンベンまでの海上輸送となる。一部の資機材には衝撃、湿気及び高温によってその機能低下の恐れのあるものも含まれているため、熱帯地方への輸送に耐えられる梱包を配慮する。

(2) 建設資機材の調達計画

上記の資機材の調達方針のもとで調達される建設資機材を、現地調達・第3国調達と日本調達に区分すれば別表4-5-4のようになる。

日本・第3国調達分については、その理由を示した。

表4-33(1) 主要建築資機材調達計画一覧表

工事種別	材 料	現地製	第3国	日本製	備 考
鉄筋コンクリート 工事	ポルトランドセメント	○			現地生産品はない
	細骨材(砂)	○			
	粗骨材(崩・珪)	○			
	異形鉄筋		○		
	型枠	○			
鉄骨工事	型钢		○		現地生産品はない
	鋼板		○		"
組積工事	コンクリートブロック	○			
	煉瓦	○			
防水工事	アスファルト防水		○		現地生産品はない
	塗膜防水		○		"
	シーリング材		○		"
左官工事	テラゾー		○		現地生産品はない
タイル工事	陶器質タイル		○		現地生産品はない
	磁器質タイル		○		"
木工事	木材	○			現地生産品はない
	集成材		○		
	合板		○		
屋根工事	瓦材	○			
金属工事	軽量鉄骨下地		○		現地生産品はない
	アルミルーバー		○		"
	化粧金物		○		"
	ルーフドレイン		○		"

表 4 - 3 3 (2)

工事種別	材 料	現地製	第 3 国	日本製	備 考
左官工事	セメントモルタル プaster	○ ○			
木製建具工事	開き扉 引き違い 木製建具枠	○ ○ ○	○ ○ ○		現地生産品もあるがフラッシュド7等は輸入品となる
金属製建具工事	アルミ製窓 ジャロジー 鋼製建具 ステンレス製建具		○ ○ ○	○ ○ ○	現地生産品はない " 特殊部分は日本製 手術室等特に高性能を要求される部分に使用
建具金物	ドアーチェック			○	現地生産品はない
ガラス工事	普通板ガラス 熱線反射ガラス ガラスブロック		○ ○ ○	○	現地生産品はない " トブライト用は日本製
塗装工事	内部ペイント 外部ペイント		○ ○	○	耐久性を要求される部分は日本製 耐久性を特に要求される部分に日本製フッソ樹脂を塗布
内装工事	施釉ボード 石膏ボード 岩綿吸音板 グラスウール フォームポリスチレン 厨房器具		○ ○ ○ ○ ○	○	清浄性・メンテナンス性を考慮しかつ耐薬品性を要求される部分に使用 現地生産品はない " " " 品質・メンテナンスの観点より仕様により分ける

(3) 医療機材の調達計画

医療機材の大部分はカンボディアで製造されていないため日本または第3国からの輸入となるが、その留意点は次のとおりである。

- 1) 医療機材は、スペアパーツや消耗品などの補給を常時必要とするので、病院側にとってそれらの入手し易い機材を選定する。またカンボディアにはアフターサービスを行える代理店はなく、周辺国特にタイに代理店を持つ製造業者の製品を調達する。
- 2) タイプライター（クメール語）、コンピューター、教育用テレビモニター、コピー機等は輸入品であっても現地で自由に入手できる為、維持管理の点から現地調達とする。
- 3) 特殊な技術を要する機材の据え付け・調整には日本又はタイから専門技術者を派遣することとするが、これ以外の作業については現地労働力で対処できる方法で計画する。

4-5-5 実施工程

(1) 実施工程

- 1) 本計画の実施に係る交換公文が日本国とカンボディア王国両国間で締結された以後の実施工程は、次の表4-32に示すとおりであり、コンサルタントによる詳細設計業務、入札業務、工事請負業者による建設工事及びコンサルタントの施工監理に分けられ、建設工事着手までは、約5ヵ月と、短期間に実施する必要がある。
- 2) 工事契約締結後、日本国政府により工事契約の認証を経て建設工事に着手する。工事期間は、本計画の規模、現地建設労務事情のほかに、
 - ・本母子保健センター建設計画地は、隣地が病院であり、限られたスペースで仮設計画をたてなければならない。
 - ・隣接建物が病院という性格上、騒音、作業時間に十分な配慮が必要である。
 - ・プノンペン市では雨期（6月～11月）があり、根切工事の時期や左官工事のウエット工法の乾燥期間には十分注意する必要がある。
 - ・輸入資材の梱包・搬送計画を十分に行う必要がある。以上を考慮した上で単年度内に竣工する必要がある。
- 3) 日本国政府無償資金協力の制度に従って実施される本計画は、限られた工期のもとで行われるため、カンボディア側には工事着手までに必要とされる準備等作業を完了させ、工事着手に支障をきたさないように手続きを遂行することが望まれる。尚、カンボディア側工事範囲については敷地の確保・建築確認等必要な許可申請の手続き等にとどめそれ以外のインフラ整備等は日本国側工事とする。

表 4 - 3 4 事業実施工程表

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
実 施 設 計	現地調査	1				5							
	現地確認					5							
	国内作業	1	2	3	4	5							
		(計 5.0月)											
施 工 ・ 調 達	工事準備	1	2										
	基礎工事		2	3	4								
	躯体工事				4	5	6	7	8				
	製造・調達				4	5	6	7	8				
	輸送							7	8	9	10	11	12
	外装工事											11	12
	据付・調整											11	12
		(計 12月)											

4-6 概算事業費

本計画を日本国の無償資金協力により実施する場合に必要な事業費総額は、約17.61億円となり、先に述べた日本国とカンボディア国との工事負担区分に基づく双方の経費内訳は、下記に示す積算条件によれば次のとおりと見積もられる。

1. 日本国側負担経費

表4-35

事業費区分	金額 (百万円)
(1) 建設費	1,471.5
ア. 直接工事費	(1,111.2)
イ. 現場経費	(116.8)
ウ. 共通仮設費等	(243.5)
(2) 機材費	130.0
(3) 設計・監理費	159.5
合計	1,761.0百万円

2. 積算条件

- (1) 積算時点 平成5年(1995年)4月
- (2) 為替交換レート 1US\$ = 97.00円
 (現地通貨単位はLIELであるが為替の変動が激しいことと現地でUS\$が一般的に用いられているためドルでの積算とした)
 円/現地通貨 1パーツ = 4.04円(1995.07~1995.12)
- (3) 施工期間 1期による工事とし、各期に要する詳細設計、工事の期間は建設実施工程に示したとおりである。
- (4) その他 本計画は、日本国政府の無償資金協力の制度に従い実施されるものとする。

4-7 技術協力、他ドナーとの連携

本施設完成時はNMCHCはその機能を本施設に移すことになる。

現在、日本の技術協力やアドバイザーグループもNMCHCをベースとして活動しているが、NMCHCの移動に伴い、新NMCHC施設に活動を展開することができる。

さらにUNICEF AIDAB WHO UNDP UNFPA JICA NGOなどがカンボディアの母子保健分野での多くの援助団体は独自の研修、訓練プログラムを持っており、本施設の研修、宿泊施設を使用することが考えられる。

このような観点から、他ドナーも本施設が早急に完成し活用されることを期待し好意的に支持している。

第5章 プロジェクトの評価と提言

5-1 計画実施による裨益効果

カンボディアの母子保健医療の状況をまとめると次のようになる。

- ① 貧困がさまざまな形で国民の健康に影響を与えている。
- ② 伝統的な助産婦、助産婦、産科医（補助員）等の医療レベルが低い。この再教育が緊急課題であるがその指導者、教育者も不足している。
- ③ 特に地方の村落レベルでの保健状態の改善が重要である。
- ④ 国民の間で産婦の保健についてまだ十分な認識がなく何の医療も受けることなく合併症で死ぬ者が多い。
- ⑤ 非合法的妊娠中絶も多い。
- ⑥ 全国の正確な医療統計の収集が行われていない。

一方、現在のNMCHCの現状をここでもう一度まとめてみると次のようになる。

① 病院機能

NMCHCの小児科診療部門はクンタポッパ病院が担当しているとしても、1月7日病院にある産婦人科部門は第3章で述べた如く、劣悪な状態にある。このため170床ある入院施設も6割程度しか活用されていない。

また、電気事情の悪さもあって折角供与された医療機器も充分には活用されていない。

② 教育病院機能

NMCHCは一般診療機能とは別に国の医療を充実するために、医療従事者を訓練する教育訓練機能を担っているが、実習の場としてモデルであるべき病院が上記のような状態である上に、研修室、講堂、教材準備室なども満足なものはないのが実情である。

③ 予防、広報機能

施設的にはまったくないに等しい。

そこで、本件が実施されれば、新NMCHCは一般診療と同時にリフェラル病院としての性能も備えているのでプノンペンの地域社会に貢献することは言うまでもないが、全国的な医療レベルの充実、向上という点から見ると、教育病院としての十分な機能と地方にも演繹しうるモデル病院としての機能を持っているので、NMCHCにおける研修はその予防広報機能とあわせて全国の母子保健医療の質的向上に永続的に貢献することができる。

とくに、本件がプロジェクトタイプ技術協力の枠組みの中で進められるので実効のある計画の立案、推進、運営管理を進めることが、その効果はより一層効果的であると考えられる。

5-2 妥当性に係わる実証・検証

本計画は、カンボディアの国家保健開発計画に基づいて要請されたものであり、同計画の推進に大きく貢献する。具体的には以下のような点が挙げられる。

(1) 研修・教育

全国から参加する母子保健医療従事者はこの施設にあるNMCHCで研修、教育を受ける。

(2) モデル病院における実習

地方病院にも適用できるような、50床の看護単位から構成されたシンプルで管理し易いモデル病院での実習によって、在るべき産婦人科医療を体験する。

(3) 地方医療の改善

ここで研修教育を受けた医療従事者が地方に帰ることによってそれぞれの置かれている医療環境を改善することができる。

(4) 保健情報の伝達

これらの医療従事者が核となって、NMCHCから発信される情報や資材によって住民一人一人に対して衛生教育、母子保健教育、伝染病に対する注意、予防注射などを普及することができる。

(5) 地方の保健情報の収集

地方の医療保健衛生に関する情報の収集も容易になるので、伝染病などの緊急事態への対応も改善され、この国の保健レベルもより一層改善されることになる。

このようにNMCHCの建設によって、カンボディア全国の母子保健医療ネットワークを確立し充実することができる。

(6) 母子保健の運営推進に関わる援助機関、国に対するスペースの提供

カンボディアの現況でこれを実施するには人材、財政、施設面ともに不足しており外国からの技術協力が不可欠である。このために前述のような各国援助が計画されているがこれらを調整し、活用するのはNMCHCの責任であり、このための諸室を設けることも妥当なことである。

5-3 提 言

「理想的な病院」の殻だけを日本国民の多額の税金を使って造り、多額の維持費という付けをカンボディア国民に残す「馬鹿げた押し売り」だけは避けねばならない。では、どうすればよいか、以下に提言を記す。

提言1. 施設、機材ともに極力メンテナンス・フリーにする。

これは設計そのものに対する課題である。

建設資材には耐久性があり保守に手のかからないものを選ぶものとする。それも、できるだけ現地産の資材を使うことで施工に対する慣れと基本的なノウハウを活用すべきである。

器材についても、いたずらに高度かつ高価なものではなく実用的で維持し易いものを中心に選び、センター内で簡単に維持保守のできるものとし、メーカーとの高額メンテナンス契約も不用なものを選ぶ。

提言2. 維持、保守、管理要員を育成する。

メンテナンス要員、オペレーション要員を育成する。そのために技協専門家としてメンテナンスのできる人を派遣し、機器担当者やメンテナンス要員を教育する。これらの養成されたスタッフを中心にメンテナンス・ワークショップを設ける。

提言3. 保守、点検を定期的に行うことが、故障を防ぐ最良の方法である。

- 1) 保守管理を有効に行うため、定期点検簿、修理台帳を整備する。
- 2) メンテナンス・マニュアル、オペレーション・マニュアル、回路図などを整備する。
- 3) 清掃要員を確保し、一般清掃とともにクリーン度を要する部屋の清掃、洗浄の仕方を教え、施設の衛生環境を確保する。
- 4) 雨もり、水もれ、排水不良を早期に発見し、被害が広がらないうちに修理を行う。
- 5) 上水は除鉄、除砂フィルターの逆洗を定期的に行い、消毒薬を必ず補給する。
- 6) 浄化槽はフィルターの清掃を定期的に行い、消毒薬を必ず補給する。

提言4. 診療の有料化によって病院運営の健全化と、患者の意識改革を行う。

カンボディア国は医療は無料を原則としているが、そのことが患者も、医療を行う側も無料なんだから当然という意識があり、医療内容の改善向上に対する努力も積極的な要求も少ない。一方、優遇を得るためには非合法であるが半公然化しているワイロを送るという不健全な状況である。

これを支払い能力のあるものからは徴収することによって、医療には金がかかるも

のであり、それを受けるには受ける側もできるだけ負担をし、それを病院の収入の増に反映させることで、それに対する相応な医療を行わねばならないという意識を確立することができる。この結果、病院もその運営の合理化と質の向上をはかることになる。

しかし一方では、経済的に医療費の負担ができない患者に対して、費用の軽減免除あるいは国による補填等は考慮する必要がある。

提言5. 他の機関にも当施設を有効利用してもらおう。

本施設はモデルティーチング病院と、研修・宿泊施設を備えており、計画された利用スケジュールによって運営されていく。今考えられているのはNMCHCによる研修コースが中心であるが、その他の使われていない時にはできる限り他機関にも利用してもらい施設の有効利用を計り、維持管理費の徴収にも寄与させたい。

提言6. NMCHCからJICAに本施設の管理運営レポートを提出してもらおう。

本施設が完成後、毎年その運営状況についてのレポートを実施機関である母子保健センターからJICAに提出していただくことを提言する。このレポートを出すことによって、実施機関として運営実状を把握できるとともに、客観的にその問題点を認識し、解決方法を見出す上で大きな助けとなると考えられる。

又、JICAとしても供与施設、機材の状況を認識することにより、可能な範囲で必要な支援や助言をすることができるし、将来の援助に対する指標とすることができる。

今日の医療の原則は“*No profit no loss*”と言われている。

現在、カンボディアにおいては医療は無料とされているが実質的には患者は経費を負担させられている。一方、医療要員のレベル向上のための研修さえも交通費、日当を援助機関が出さなければ参加できないのが現実である。

少なくとも、本施設の健全運営のためには受益者負担の観点から有料化を原則としながら支払えない人に対する医療費の軽減、免除あるいは国による補填によってカバーするという手法がある。いずれにしても、形骸化している「無料制度」は見直さなければならない。

資 料 編

1. 基本設計調査	
(1) 調査団氏名	II - 1
(2) 調査日程	II - 2
(3) 主要面談者リスト	II - 4
(4) 協議議事録	II - 6
2. ドラフト報告書説明ミッション	
(1) 調査団氏名	II - 2 4
(2) 調査日程	II - 2 5
(3) 主要面談者リスト	II - 2 5
(4) 協議議事録	II - 2 6
3. 建設予定地概況	II - 3 0
4. 当該国の社会・経済事情	II - 3 1

1. 基本設計調査

(1) 調査団の構成

【基本設計調査（平成6年11月27日～12月24日）】

担当分野	氏名	所属
団長・総括	河西 明	国際協力事業団技術参与
技術顧問	青山 温子	厚生省 国立国際医療センター 国際医療協力局
計画管理	稲見 純子	国際協力事業団無償資金協力部 基本設計調査第1課
総括／施設計画Ⅰ	金川 一郎	株式会社 日本設計
施設計画Ⅱ	浜田 知直	株式会社 日本設計
設備計画	石川 修三	株式会社 日本設計
医療機材計画	金子 昭生	株式会社 日本設計

(2) 調査日程

【基本設計調査】（1994年8月30日～10月13日）

日順	月日（曜日）	調査内容
1	11月27日（日）	成田発 バンコク着
2	28（月）	バンコク発 - フノック着 JICAカンボジア事務所 表敬訪問 MOH(保健省) 表敬訪問
3	29（火）	外務省 表敬訪問 日本大使館 表敬訪問 鉱工業、エネルギー省と電力関係協議 フノック市と上水・排水・道路関係協議 CDC(カンボディア復興委員会)
4	30（水）	国立母子保健センターと第一回協議
5	12月1日（木）	国立母子保健センターと第二回協議 国立小児病院 視察 フノック市と上水・排水・道路関係協議
6	2（金）	国際機関(UNFPA, UNICEF, AIDAB)との協議 国立母子保健センターと第三回協議 EDC(カンボディア電力公社)と電力引込協議
7	3（土）	国立母子保健センターと第四回協議 Kuntha Bopha病院関係者と協議
8	4（日）	収集資料の整理
9	5（月）	保健省にて協議議事録の内容について協議 保健省にて協議議事録に署名 JICAカンボジア事務所へ報告 日本大使館へ報告
10	6（火）	団長、青山・稲見団員 フノック発・バンコク着 自然調査発注打合せ 日系ゼネコンから建設事情ヒアリング 現地調達訓練機材市場調査
11	7（水）	青山団員 東京着 Kuntha Bopha病院関係者と協議、視察 日系ゼネコンから建設事情ヒアリング
12	8（木）	国立母子保健センターと第五回協議
13	9（金）	国立母子保健センターと第六回協議
14	10（土）	収集資料の整理 報告書作成
15	11（日）	収集資料の整理 報告書作成
16	12（月）	国立母子保健センターと第七回協議 敷地測量調査開始立会い 消防署との打合せ
17	13（火）	国立母子保健センターと第八回協議 ㈱東京設計事務所から上水道の現況をヒアリング 環境省との打合せ

日順	月日(曜日)	調査内容
18	12月14日(水)	国立母子保健センターと第九回協議 敷地調査
19	15(木)	類似施設視察(CALMETTE病院、SIHANOUK病院) 郵政省打合せ
20	16(金)	類似施設視察(赤十字病院) 環境省との打合せ(建設機械センター、民間ホテル) ボーリング調査開始立会い
21	17(土)	国立母子保健センターと第十回協議
22	18(日)	村上JICA専門家との打合せ 報告書作成
23	19(月)	国立母子保健センターと第十一回協議 JICAカンボディア事務所へ報告 保健省へ報告
24	20(火)	バンコク発・バコク着
25	21(水)	日系ゼネコ・サコンから建設事情ヒアリング 日系ゼネコ・サコンから建設事情ヒアリング 第三国調達品市場調査
26	22(木)	日系ゼネコ・サコンから建設事情ヒアリング 第三国調達品市場調査
27	23(金)	第三国調達品市場調査 バコク発
28	24(土)	東京着

(3) 主要面談者リスト／Discussant

- 1) カンボディア国政府関係者／Cambodian Officers
 - Ministry of Foreign Affairs(外務省)
Mrs. Marina Yuai, Under Secretary of State
Ms. You Ay, Director of International Cooperation Development
Mr. Hem Heng, Deputy Director
 - Council for Development of Cambodia(カンボディア復興委員会)
Mr. Chhieng Yanara, Secretary General
浜田 哲郎 JICA専門家 (Mr. Hamada)
 - Ministry of Health(保健省)
Dr. Chhea Thang, Minister of Health
Dr. Mam Bunheng, Under Secretary of State
Dr. Dy Narong Rith, Under Secretary of State
Dr. Te Kuy Seang, Director of Cabinet
Dr. Hun Chun Ly, Director General of Health
Dr. Char Meng Chor, Director of Planning and Statistics
Dr. Huy Seth, Director of National and International Relation
Dr. Nhonh Bun Yay, Deputy Director of Health
Mr. Seng Lim Neou, Director of Drugs and Supply
村上 仁 JICA専門家 (Mr. Murakami)
 - National Maternal and Child Health Center (NMCHC) (国立母子保健センター)
Dr. Eng Huot, Director
Dr. Koum Kanal, Vice Director (Maternal Health)
Dr. Yit Sunnara, Vice Director (Child Health), Chief of Kuntha Bopha Hospital
Dr. Tann VUoch Chheng, Chief of OPD
Dr. San Chan Soeun, Chief of B-Block
Dr. Seang Tharith, Chief of C-Block
Dr. Chunn Long, Saff (Ob-Gyn)
Dr. Tan Borin, Chief of Nurse, Pediatric section
Dr. Som Ritty, Chief of Nurse, Pediatric section
Dr. Sour Kim Ann, Nutrition Program manager
Dr. You sophat, Chief of Operation Theater (Anesthesiology)
Dr. Bun Chan Than, CDD program manager
Dr. Tung Rathavy, BFH Coordinator
Dr. Med Dek In, Administrator
Mr. Chea Kim Long, Chief of Accountant
Mr. Crouch Rithida, Chief of Nurse, Operation Theater
Mr. Lay Kim Thong, Chief of Radiology Section
Mr. Nv Sovann, Chief of Security
Mr. Nv Sovann, Chief of Laboratory Section
Ms. Kuch Saram, Chief of midwife (A block)
Ms. Chin Chan Tach, Chief of midwife (B block)
Ms. Sok Sem, Chief of midwife (C block)
Ms. Pin Sohay, Chief of midwife (OPD)
Ms. Chun Nay Im, Chief of Pharmacy Section
 - Kuntha Bopha Hospital(クンタボッパ小児病院)
Dr. Beat Richner, Foundation for Khmer-Swiss Partnership in Pediatrics
Dr. Studer, Foundation for Khmer-Swiss Partnership in Pediatrics
Ms. Irma Hug, Public Health Nurse
 - National Pediatric Hospital(国立小児病院)
Dr. Chhor Y Meng, Director
Dr. Sdoeung Chea, Chief of DTTU
 - Calmette Hospital(国立カルメット病院)
Dr. Khuon Pichith, Director Ajoint
Dr. Jean-Pierre Alluard, Delegeue General
 - Sihanouk Hospital(国立シアヌーク病院)
Dr. Sam Sophean, Director

- Ministry of Industry, Mines and Energy(鉱工業・エネルギー省)
Mr. Ith Praing, Secretary of State
- Electricite Du Cambodge(EDVC)(カンボディア電力公社)
Mr. Ty Norin, Deputy director
- Ministry of Post & Telecommunications(郵政省)
Mr. Phan Phin, Under Secretary of State
- Ministry of Environment(環境省)
Dr. Seng Oeurm, Secretary of State
Mr. Sem Sarceun, Cabinet Chief of State of Secretariat
Mr. Chea San, Department C
Mr. Psk sokharauuth, Department C
- Phnom Penh Municipality Office(プノンペン市)
Mr. Chap Nhalyvoud, Vice Governor
Mr. Seng Tong, Advisor of Vice Governor
Mr. Ek Sonn Chan, Director of Water Supply
Mr. Keo Savin, Director of Public Work
Mr. Ua Ngoun, Director of Drainage
Mr. Uk Cheat, Director of Road & Bridge
Mr. Suon Sophak, Director of Police and Fire Station
- 2) 国連機関/International Organizations
 - UNICEF (国連児童基金)
Dr. Douglas R. Mendoza, PHC/MCH Project Officer
 - UNFPA (国連人口基金)
Dr. Liz Goodburn, MCH-BS Advisor
- 3) 二国間援助機関/Aid Organizations by other countries
 - AIDAB (Australian International Development Assistance Bureau)
Dr. John Bladly,
- 4) NGO
 - 日本赤十字社
榎本 剛 調整員
- 5) 日本政府関係者/Japanese Officers
 - 日本大使館(Embassy of Japan in Cambodia)
今川 幸雄 特命全権大使
(H. E. Yukio IMAGAWA, Ambassador Extraordinary and Plenipotentiary)
加藤 重信 公使
(Mr. Shigenobu KATO, Minister)
星山 隆 一等書記官
(Mr. Takashi HOSHIYAMA, First Secretary)
磯 正人 一等書記官
(Mr. Masato ISO, First Secretary)
清水 利夫 一等書記官
(Mr. Toshio SHIMIZU, First Secretary)
塚元 重光 二等書記官
(Mr. Shigemitsu TSUKAMOTO, Second Secretary)
重村 健二 三等書記官
(Mr. Kenji SHIGEMURA, Third Secretary)
 - JICAカンボディア事務所(JICA Cambodia Office)
渡部 正剛 所長
(Mr. Seigo WATANABE, Resident Representative)
坂根 宏治 所員
(Mr. Kouji SAKANE,)
山際 洋一 所員
(Mr. Youichi YAMAGIWA,)
清水 健次郎 協力隊調整員
(Mr. Kenjiro SHIMIZU,)

(4) 協議議事録
基本設計調査時

MINUTES OF DISCUSSIONS
ON
THE BASIC DESIGN STUDY ON THE PROJECT FOR
THE CONSTRUCTION OF NATIONAL MATERNAL AND CHILD HEALTH CENTER
IN
THE KINGDOM OF CAMBODIA

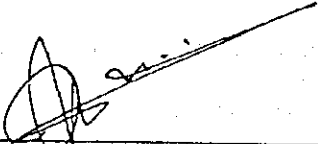
In response to the request from the Royal Government of the Kingdom of Cambodia, the Government of Japan decided to conduct a basic design study on the Project for the Construction of Maternal and Child Health Center (hereinafter referred to as "the Project") and entrusted the study to the Japan International Cooperation Agency (JICA).

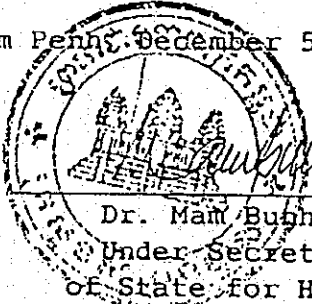
JICA sent to Cambodia the Basic Design Study Team (hereinafter referred to as "the Team"), headed by Mr. Akira KASAI, Special Technical Assistant to the President, JICA, and is scheduled to study in the country from November 28 to December 20, 1994.

The Team held a series of discussions with the officials concerned of the Royal Government of Cambodia and conducted field surveys at the study area.

In the course of discussions and field surveys, both sides have confirmed the main items described in the attached sheets. The Team will proceed to further works and prepare the Basic Design Study Report.

Phnom Penh, December 5, 1994


Mr. Akira KASAI
Leader,
Basic Design Study Team,
JICA


Dr. Mam Butheng
Under Secretary
of State for Health,

ATTACHMENT

1. Objective

The objective of the Project is to contribute to improve the function of National Maternal and Child Health Center(NMCHC) described in the below 2. by reconstructing its physical facilities and providing the equipment.

2. The Function of NMCHC to be Improved in the Project

- (1) Policy making and planning for nation wide MCH services
- (2) Training of the nation wide MCH personnel
- (3) Clinical services for the comprehensive MCH care

3. Project Site

The Project site is shown in Annex I, with the total area of approximately 13,000m², adjacent to Kunta Bopha Hospital which is a part of NMCHC.

4. Executing and Responsible Agencies

- (1) Director of the NMCHC is responsible for the execution of the Project.
- (2) Director General of Health in charge is responsible for the implementation of the Project.

5. Items Requested by the Cambodian Side

After discussions with the Team, the items described in Annex II were finally requested by the Cambodian side. However, the final components of the Project may be modified, if necessary after further surveys in Cambodia and analyses in Japan.

6. Issues Related to the Component of the Equipment Mentioned in the Above 5.

- (1) The Japanese side will review the necessary components of the equipment according to the priority order proposed by the Cambodian side.
- (2) The existing equipment which can be continuously used should

be transferred to the new site.

The Japanese side will examine the present condition of the existing equipment, and assess the possibility of its further utilization in the new site.

7. Japanese Grant Aid System

- (1) The Cambodian side has understood the Japanese grant aid system explained by the Team, as described in Annex IV .
- (2) The Cambodian side will take necessary measures, as described in Annex III for the smooth implementation of the Project on condition that Japanese grant aid is extended to the Project.

However, the Cambodian side stated that it would be appreciated if the Japanese side takes measures described in Annex III 3.4. and 5. in case that the Royal Government of Cambodia finds difficulties for the execution of the same items mentioned above by its own expenses. The Japanese side acknowledged it.

8. Other Relevant Issues

Both sides have confirmed the following measures are to be taken;

- (1) In order to realize the objective of the Project,
 - (a) The Royal Government of Cambodia will make necessary arrangements to secure the adequate budget for the execution of the Project.
 - (b) The Royal Government of Cambodia will allocate and secure enough budget to operate and maintain properly and effectively the physical facilities and the equipment of the Project.
 - (c) The Cambodian side will operate and maintain the newly constructed physical facilities and equipment for the whole function of NMCHC.
- (2) In order to proceed field surveys and implement the construction smoothly,

- (a) The Cambodian side will confirm the security and safety of Japanese nationals related to the Project in and around the site.
- (b) NMCHC will establish a task force concerned of the Project that can provide necessary data, information, and advices for the Team.
- (c) To coordinate and solve any issues related to the Project which may arise with third parties and inhabitants living within the site prior to the commencement of the construction.

9. Schedule of the Study

- (1) The Team will proceed to further studies in Cambodia until December 20, 1994.
- (2) JICA will prepare the draft report and dispatch a mission in order to discuss its contents around April, 1995.
- (3) In case that the contents of the draft report is accepted in principle by the Cambodian side, JICA will complete the final report and send it to Cambodia around May, 1995.



Annex III

Necessary measures to be taken by the Royal Government of Cambodia on condition that Japanese Grant Aid is extended to the Project;

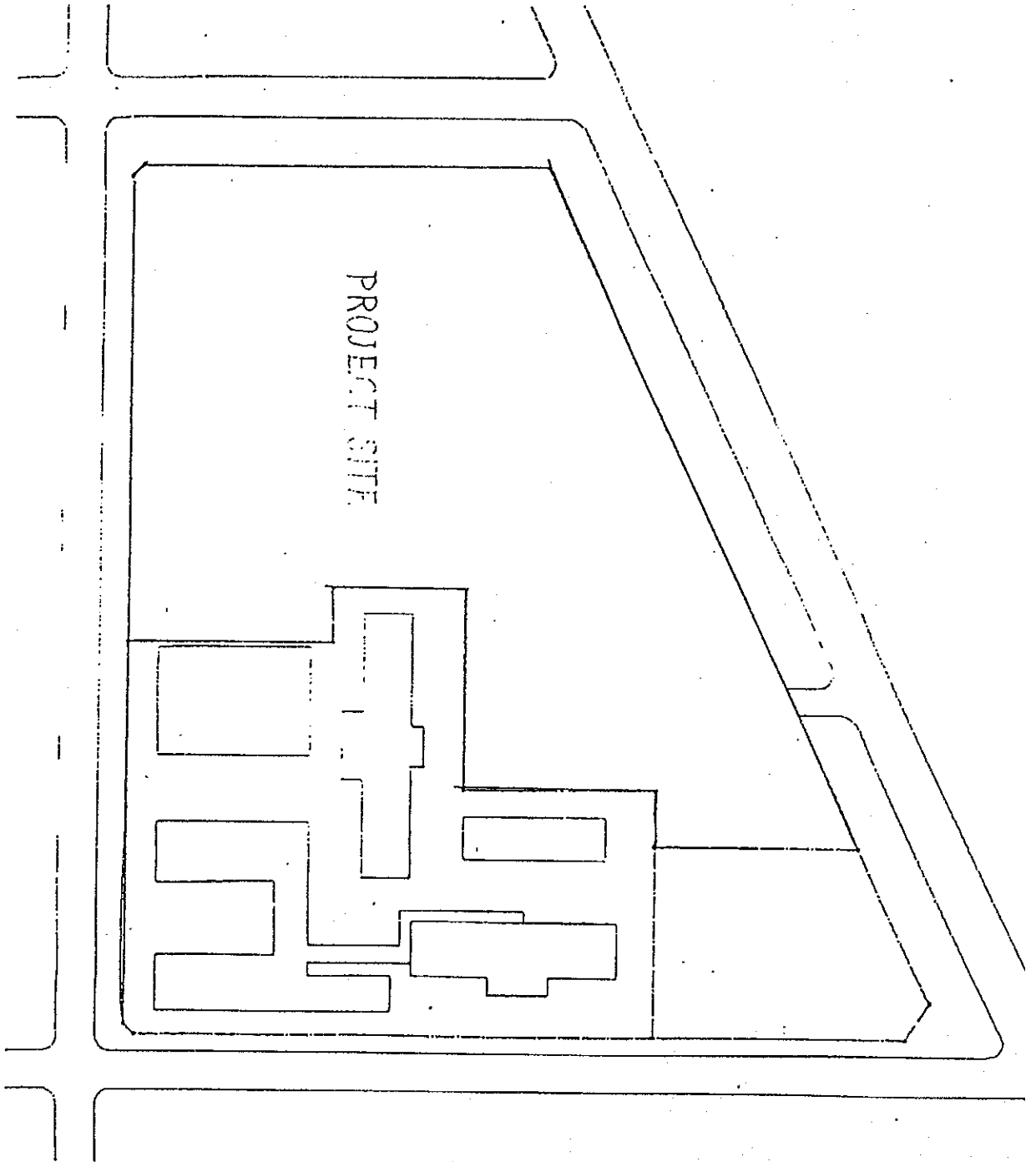
1. To provide data and information necessary for the Project.
2. To secure the land for the site of the Project.
3. To demolish the present facilities including substructure, clear, and fill the site to the agreed level prior to the commencement of the construction.
4. To construct gates and fences in and around the site.
5. To provide facilities for the distribution of electricity, water supply, drainage and other incidental facilities to the Project site.
 - (1) the distribution of electricity line to the site
 - (2) the city water distribution main to the site
 - (3) the city drainage main to the site
 - (4) the telephone trunk line to the main distribution frame/panel of the building
6. To bear the following commissions to the Japanese foreign exchange for the banking services based upon the B/A.
 - (1) Advising commission of A/P
 - (2) Payment commission
7. To ensure prompt unloading, tax exemption, and custom clearance at the port of disembarkation in Cambodia and internal transportation therein of the products under the Grant.
8. To accord Japanese nationals whose services may be required in connection with the supply of the products and services under the verified contracts, such facilities as may be necessary for their entry into Cambodia and stay therein for the execution of the Project.
9. To exempt Japanese nationals involved in the Project from customs duties, internal taxes and other fiscal levies which may be imposed in Cambodia with respect to the supply of the

products and the services under the verified contracts.

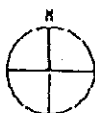
10. To bear all the expenses other than those to be borne by the Grant, necessary for the construction of the facilities as well as for the transportation and installation of the equipment.

Annex I

The Project Site



NOT QUITE THE SAME AS THE ORIGINAL



8

Annex II

Items Requested by the Cambodian Side

1. Construction of the physical facilities

(1) Facilities for maternity and neonatal clinical activities

which include;

150 beds for Ob/Gyn

3 operating theaters

3 delivery rooms

1 labor room

1 neonatal room

1 central surgical supply room

1 X-ray unit

3 examination rooms for inpatient

2 examination rooms for ECG and ultrasonography

laundry and kitchen

OPD

10 consulting rooms

6 for antenatal care

2 for gynecology

1 for birth spacing

1 for counseling

reception/waiting room

2 rooms for treatment, examination, etc.

1 health education room

pharmacy office and store

administration office

medical records storage space

equipment storage space

(2) Facilities for training activities which include;

200 person auditorium

4 teaching rooms with 20 person capacity

2 teaching rooms with 40 person capacity

2 teaching material preparation rooms

2 storage

library

administration

staff room

accommodation for trainees from provinces with the capacity

for about 80 persons, cafeteria and kitchen

2. Procurement of equipment

Department	Category	Equipment	Priority	
Outpatient	Medical instruments	Trash drum	A	
		Dressing jar	A	
		Backhaus towel forceps	A	
		Towel forceps stand	A	
		Tweezers	A	
		Forceps stand	A	
		Instrument cabinet	A	
		Instrument tray	A	
		Emergency cart	A	
		Instrument sterilizing tray	A	
		Collin vaginal speculum	A	
		Cuscos vaginal speculum	A	
		Sims vaginal speculum	A	
		Stethoscope	A	
		Obstetric stethoscope	A	
		Tray set	A	
		Pus basin	A	
		Foot stool	A	
		Sterilizing container	A	
		Instruments set (Minor surgery, D&C and examination)	A	
	Thermometer	A		
	Medical equipment			A
		Sphygmomanometer		A
		Gynecology treatment table		A
		Gynecology examination unit		A
		Examination table		A
		Examination lamp		A
		Film viewer		A
		Floor standing auxiliary operation light		B
		Wheel chair		A
		Weighing scale		A
		Height scale		A
		ECG		B
		Bed for ECG		B
		Boiling sterilizer		A
		Medical refrigerator		A
		Manual resuscitator (Ambu bug)		B
	Oxygen inhalator		A	
	Training simulator		A	
	Colposcope		C	
	Electrosurgical unit		C	
	Radiography	Medical instruments		
			Trash drum	A
		Medical equipment		
			General X ray	A
			Portable X ray	A

Department	Category	Equipment	Priority
------------	----------	-----------	----------

		Manual film developer	A
		Accessory kit for X ray	A
		Ultrasound scanner	B
		Gynecology treatment table	B
		Bed for Ultrasound test	B

Laboratory

	Medical instruments		
		Trash drum	A
		Glass ware set	A
		Test tube rack	A
	Medical equipment		
		Flame photometer	A
		Centrifuge	B
		Hemacrit centrifuge	B
		Microscope	A
		Water still	A
		Bililbin analyzer	A
		Spectorphotometer	A
		Blood cell test set	B
		Automatic pipette cleaner	A
		Blood refrigerator	A
		Hemoglobin meter	A
		2 doors refrigerator	C
		ELISA set	C
		Blood cell counter	C

Ward

	Medical instruments		
		Trash drum	A
		Dressing jar	A
		Backhaus towel forceps	A
		Towel forceps stand	A
		Catheter tray	A
		Chart wagon	A
		Forceps stand	A
		Instrument cabinet	A
		Instrument carriage	A
		Instrument tray	A
		Emergency cart	A
		Instrument sterilizing tray	A
		Examination table	A
		Thermometer	A
		Thermometer tray	A
		Collin vaginal speculum	A
		Cuscos vaginal speculum	A
		Sims vaginal speculum	A
		Stethoscope	A
		Stand	A
		Obstetric stethoscope	A
		Tray set	A
		Urinal hanger	A

Department	Category	Equipment	Priority
		Pus basin	A
		Tweezers	A
		Foot stool	A
		Sterilizing container	A
		Baby bath	A
		Instruments set (D&C and examination)	A
	Medical equipment		
		Gadge bed	A
		Bed	A
		Baby cot	A
		Spygmomanometer	A
		Gynecology treatment table	A
		Gynecology examination unit	A
		Examination lamp	A
		Oxygen inhalator	A
		Film viewer	A
		Stretcher	A
		Wheel chair	A
		Weighing scale	A
		Weighing scale for neonate	A
		Boiling sterilizer	A
		Medical refrigerator	A
		Oxygen flowmeter	A
		Suction bottle	A
		Icecube machine	B
		2 doors refrigerator	C
		Patient monitor	C
	Operation, delivbery and neonatal care		
	Medical instruments		
		Trash drum	A
		Dressing jar	A
		Backhaus towel forceps	A
		Towel forceps stand	A
		Catheter tray	A
		Forceps stand	A
		Instrument cabinet	A
		Instrument carriage	B
		Instrument tray	A
		Laryngoscope for newborn	A
		Laryngoscope for adult	A
		Instrument sterilizing tray	A
		Collin vaginal speculum	A
		Cuscos vaginal speculum	A
		Sims vaginal speculum	A
		Stethoscope	A
		Stand	A
		Obstetric stethoscope	A
		Tray set	A
		Pus basin	A
		Tweezers	A
		Sterilizing container	A
		Obstetric forceps	A

Department	Category	Equipment	Priority
		Hemostatic forceps (kochel, Pean and Mosquito)	A
		Instruments set (Suturing, C-section, D&C, Delivery, Hysterectomy, etc.)	A
		Glass ware set	A
		Emergency cart	C
	Medical equipment		
		Blood refrigerator	A
		Patient monitor	A
		Suction unit	B
		Spygmomanometer	A
		High-pressure steam sterilizer	A
		Phototherapy unit	A
		Film viewer	A
		No shadow light (Ceiling type)	A
		Floor standing auxiliary operation light	B
		Operation table	A
		Operation chair	A
		Anesthesia apparatus	A
		Endotracheal set	A
		Observation bed	A
		Neonatal bed	A
		Treatment table for neonatal	A
		Doppler monitor	C
		Scrub station	A
		Electrosurgical unit	A
		Transport incubator	A
		Fetal monitor	A
		Vacuum extractor	B
		Delivery table	A
		Stretcher	A
		Weighing scale for neonate	A
		Medical refrigerator	A
		Jackson Lees resuscitator	A
		Manual resuscitator (Ambu bug)	A
		Infant warmer	A
		Oxygen flowmeter	A
		Suction bottle	A
		Ultraviolet sterilizer	C
		Infant incubator	B
		Neonatal monitor	C
		Infusion pump	C
		Stand	C
Training	Stationery and audiovisual equipment		
		AV equipment table	A
		Overhead projector	A
		Slide projector	A
		Screen	A
		Copy machine	A
		Typewriter (Khmer)	A
		Typewriter (English)	A

Department	Category	Equipment	Priority
		Personal computer set	A
		Videoplayer	B
		TV monitor	B
		Video camera	A
		Video processor	A
		Duplicator	A
	Medical equipment		
		Trainig manekin or simulator	A
		Text books	B
Administration			
	Stationery and audiovisual equipment		
		Copy machine	A
		Typewriter (Khmer)	A
		Typewriter (English)	A
		Personal computer set	A
Maintenance and others			
		Power generator	A
		General tool set	C
		Electrical tool set	A
		Cleaning instruments	A
		Dryer	A
		Laundry machine	B
		Hydroextractor	A
		Incinerator	C
		Gardening instruments	A
		Push cart	A
		Cooking equipments	A
		Spreading wagon	A
		Laundry bag	A
		Linen cart	A
		Furniture for clinical service, training and others	A

Annex IV

Japan's Grant Aid Scheme

1. *Grant Aid Procedures*

1) Japan's Grant Aid Program is executed through the following procedures.

Application	(Request made by a recipient country)
Study	(Basic Design Study conducted by JICA)
Appraisal & Approval	(Appraisal by the Government of Japan and Approval by Cabinet)
Determination of	(The Notes exchanged between the Governments
Implementation	of Japan and the recipient country)

2) Firstly, the application or request for a Grant Aid project submitted by a recipient country is examined by the Government of Japan (the Ministry of Foreign Affairs) to determine whether or not it is eligible for Grant Aid. If the request is deemed appropriate, the Government of Japan assigns JICA (Japan International Cooperation Agency) to conduct a study on the request.

Secondly, JICA conducts the study (Basic Design Study), using (a) Japanese consulting firm(s).

Thirdly, the Government of Japan appraises the project to see whether or not it is suitable for Japan's Grant Aid Program, based on the Basic Design Study report prepared by JICA, and the results are then submitted to the Cabinet for approval.

Fourthly, the project, once approved by the Cabinet, becomes official with the Exchange of Notes signed by the Governments of Japan and the recipient country.

Finally, for the implementation of the project, JICA assists the recipient country in such matters as preparing tenders, contracts and so on.

2. Basic Design Study

1) Contents of the Study

The aim of the Basic Design Study (hereinafter referred to as "the Study"), conducted by JICA on a requested project (hereinafter referred to as "the Project") is to provide a basic document necessary for the appraisal of the Project by the Japanese Government. The contents of the Study are as follows:

- a) Confirmation of the background, objectives, and benefits of the requested project and also institutional capacity of agencies concerned of the recipient country necessary for the Project's implementation.
- b) Evaluation of the appropriateness of the Project to be implemented under the Grant Aid Scheme from a technical, social and economic point of view.
- c) Confirmation of items agreed on by both parties concerning the basic concept of the Project.
- d) Preparation of a basic design of the Project.
- e) Estimation of costs of the Project.

The contents of the original request are not necessarily approved in their initial form as the contents of the Grant Aid project. The Basic Design of the Project is confirmed considering the guidelines of Japan's Grant Aid Scheme.

The Government of Japan requests the Government of the recipient country to take whatever measures are necessary to ensure its self-reliance in the implementation of the Project. Such measures must be guaranteed even though they may fall outside of the jurisdiction of the organization in the recipient country actually implementing the Project. Therefore, the implementation of the Project is confirmed by all relevant organizations of the recipient country through the Minutes of Discussions.

2) Selection of Consultants

For smooth implementation of the Study, JICA uses (a) registered consultant firm(s). JICA selects (a) firms(s) based on proposals submitted by interested firms. The firm(s) selected carry (ies) out a Basic Design Study and write(s) a report, based upon terms of reference set by JICA.

The consulting firm(s) used for the Study is(are) recommended by JICA to the recipient country to also work on the Project's implementation after the Exchange of Notes, in order to maintain technical consistency and also to avoid any undue delay in implementation should the selection process be repeated.

3. *Japan's Grant Aid Scheme*

1) What is Grant Aid ?

The Grant Aid Program provides a recipient country with non-reimbursable funds to procure the facilities, equipment and services (engineering services and transportation of the products, etc.) for economic and social development of the country under principles in accordance with the relevant laws and regulations of Japan. Grant Aid is not supplied through the donation of materials as such.

2) Exchange of Notes (E/N)

Japan's Grant Aid is extended in accordance with the Notes exchanged by the two Governments concerned, in which the objectives of the Project, period of execution, conditions and amount of the Grant Aid, etc., are confirmed.

3) "The period of the Grant Aid" means the one fiscal year which the Cabinet approves the Project for. Within the fiscal year, all procedures such as exchanging of the Notes, concluding contracts with (a) consultant firm(s) and (a) contractor(s) and final payment to them must be completed.

However in case of delays in delivery, installation or construction due to unforeseen factors such as weather, the period of the Grant Aid can be further extended for a maximum of one fiscal year at most by mutual agreement between the two Governments.

4) Under the Grant Aid, in principle, Japanese products and services including transport or those of the recipient country are to be purchased.

When the two Governments deem it necessary, the Grant Aid may be used for the purchase of the products or services of a third country.

However the prime contractors, namely, consulting, contracting and procurement firms, are limited to "Japanese nationals". (The term "Japanese nationals" means persons of Japanese nationality or Japanese corporations controlled by persons of Japanese nationality.)

5) Necessity of "Verification"

The Government of recipient country or its designated authority will conclude contracts denominated in Japanese yen with Japanese nationals. Those contracts shall be verified by the Government of Japan. This "Verification" is deemed necessary to secure accountability to Japanese taxpayers.

6) Undertakings required of the Government of the Recipient Country

In the implementation of the Grant Aid project, the recipient country is required to undertake such necessary measures as the following:

- (1) To secure land necessary for the sites of the Project and to clear, level and reclaim the land prior to commencement of the construction.
- (2) To provide facilities for the distribution of electricity, water supply and drainage and other incidental facilities in and around the sites.
- (3) To secure buildings prior to the procurement in case the installation of the equipment.
- (4) To ensure all the expenses and prompt execution for unloading, customs clearance at the port of disembarkation and internal transportation of the products purchased under the Grant Aid.
- (5) To exempt Japanese nationals from customs duties, internal taxes and other fiscal levies which will be imposed in the recipient country with respect to the supply of the products and services under the Verified Contracts.
- (6) To accord Japanese nationals whose services may be required in connection with the supply of the products and services under the Verified Contracts, such facilities as may be necessary for their entry into the recipient country and stay therein for the performance of their work.

7) "Proper Use"

The recipient country is required to maintain and use the facilities constructed and equipment purchased under the Grant Aid properly and effectively and to assign staff necessary for this operation and maintenance as well as to bear all the expenses other than those covered by the Grant Aid.

8) "Re-export"

The products purchased under the Grant Aid should not be re-exported from the recipient country.

9) Banking Arrangements (B/A)

a) The Government of the recipient country or its designated authority should open an account in the name of the Government of the recipient country in an authorized foreign exchange bank in Japan (hereinafter referred to as "the Bank"). The Government of Japan will execute the Grant Aid by making payments in Japanese yen to cover the obligations incurred by the Government of the recipient country or its designated authority under the Verified Contracts.

b) The payments will be made when payment requests are presented by the Bank to the Government of Japan under an authorization to pay issued by the Government of the recipient country or its designated authority.

2. ドラフト報告書説明ミッション

(1) 調査団の構成

【ドラフト報告書説明ミッション（平成7年4月18日～26日）】

担当分野	氏名	所属
団長・総括	河西 明	国際協力事業団技術参与
技術顧問	青山 温子	厚生省 国立国際医療センター 国際医療協力局
計画管理	前川 憲治	国際協力事業団無償資金協力業 務部 業務第1課
総括／施設計画Ⅰ	金川 一郎	株式会社 日本設計
医療機材計画	金子 昭生	株式会社 日本設計

(2) 調査日程

【ドラフト報告書説明ミッション】（1995年4月18日～26日）

日順	月日（曜日）	調査内容
1	4月18日（火）	成田発 バコク着
2	19（水）	バコク発 - プノン着 JICAカンボジア事務所 表敬訪問 在カンボディア日本大使館 表敬訪問
3	20（木）	保健省 表敬訪問 外務省 表敬訪問 保健省と協議
4	21（金）	国立母子保健センターと第一回協議 国立母子保健センターと第二回協議 母子保健アドバイザー・グループと協議
5	22（土）	第5発電所見学 電話公社と協議 電力公社(EDC)と協議
6	23（日）	浄水場、プノンペン港、国道6A号視察
7	24（月）	協議議事録準備 日本大使館へ報告
8	25（火）	協議議事録署名
9	26（水）	プノン 発 バコク着 バコク発 - 成田着

(3) 主要面談者リスト

ドラフト説明ミッションの面談者は基本設計調査の同リストを含む。

(4) 協議議事録 ドラフト報告書説明ミッション

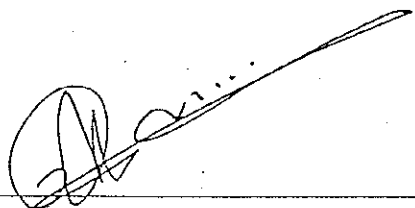
MINUTES OF DISCUSSIONS
ON
THE BASIC DESIGN STUDY ON THE PROJECT FOR
THE CONSTRUCTION OF NATIONAL MATERNAL AND CHILD HEALTH CENTER
IN
THE KINGDOM OF CAMBODIA
(CONSULTATION ON THE DRAFT REPORT)

In November 1994, the Japan International Cooperation Agency (JICA) dispatched the Basic Design Study Team on the Project for the Construction of National Maternal and Child Health Center (hereinafter referred to as "the Project"), and through discussions, field survey, and the results of technical examination in Japan, JICA has prepared the draft report of the study.

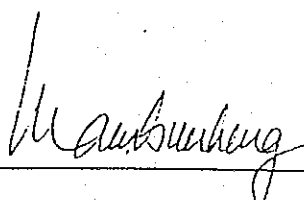
In order to explain and consult with the concerned officials of the Royal Government of Cambodia on the components of the draft report, JICA sent to Cambodia a study team (hereinafter referred to as "the Team"), which is headed by Mr. Akira KASAI, Special Technical Assistant to the President, JICA, and is scheduled to study in the country from 19th to 25th April, 1995.

As a result of discussions, both parties have confirmed the main items described on the attached sheets.

Phnom Penh, 24th April, 1995



Mr. Akira KASAI
Leader
Basic Design Study
Draft Report Consultation Team
Japan International Cooperation
Agency (JICA)



Dr. Mam Bunheng
Under Secretary
of State for Health

ATTACHMENT

1. Components of Draft Report

The Cambodian side has agreed and accepted in principle the components of the draft report proposed by the Team. But at the same time, the Cambodian side requested to enlarge and increase the space for parking area as described in ANNEX- II.

The requested items shall be re-examined and referred to on finalizing the Basic Design Study Report.

2. Japan's Grant Aid Program

2-1. The Cambodian side has understood Japan's grant aid system explained by the Team.

2-2. The Cambodian side will take necessary measures described in ANNEX-I for the smooth implementation of the Project on condition that Japan's grant aid is extended to the Project.

3. Schedule of the Study

JICA will complete the final report in accordance with the confirmed items, and send it to the Royal Government of Cambodia around June, 1995.

4. Operation of the National Maternal and Child Health Center

In the event that Japan's grant aid is extended to the Project, the Cambodian side shall take necessary measures to ensure that the physical facilities constructed and equipment procured under the Project be operated, maintained and used properly and effectively, and especially shall undertake following measures.

4-1 To allocate adequate amount of budget necessary for proper operation including proper maintenance of the National Maternal and Child Health Center, which is estimated in the draft report and confirmed by the Cambodian side.

4-2 To assign adequate personnel with due ability for the National Maternal and Child Health Center.

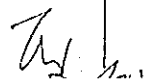
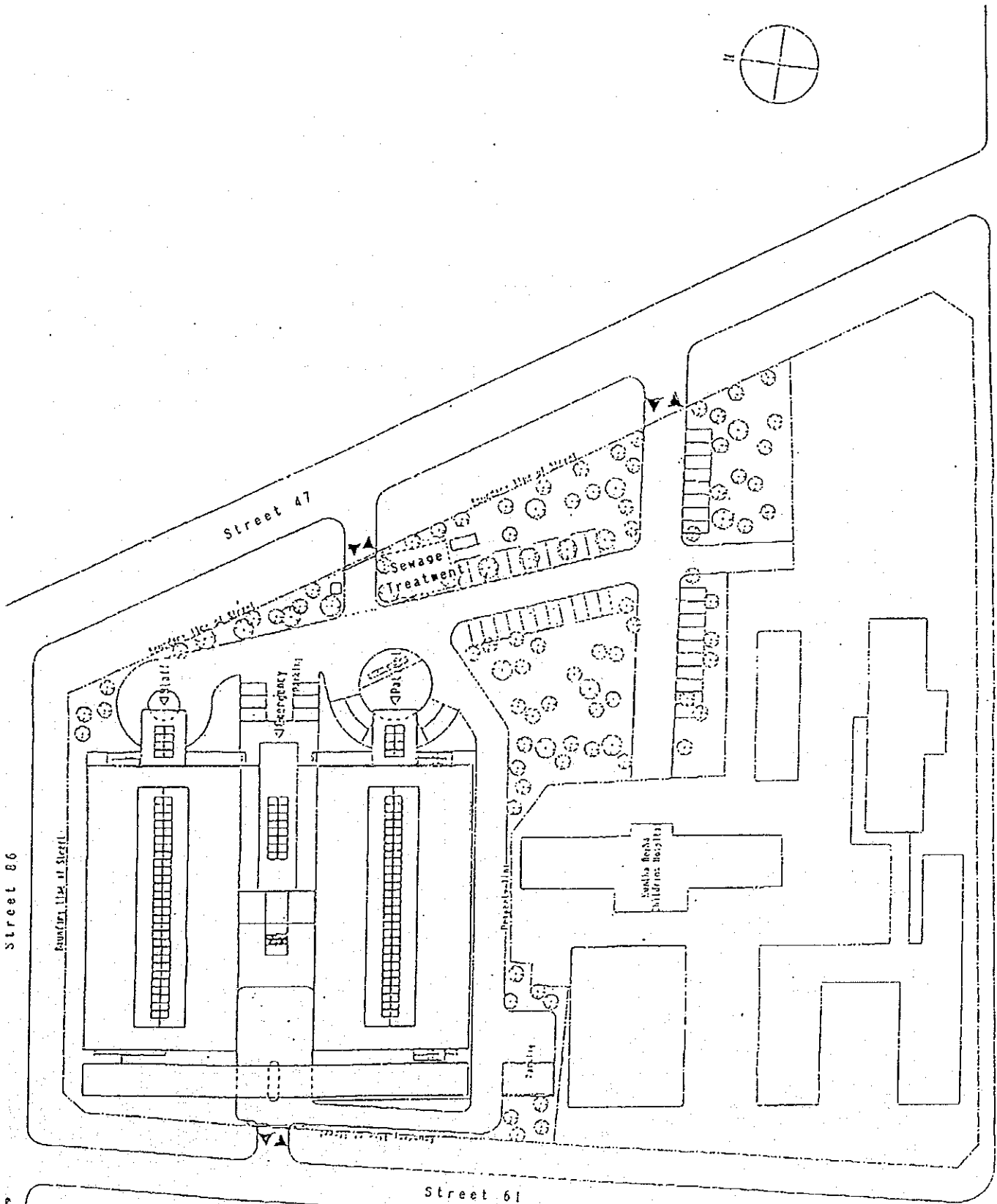
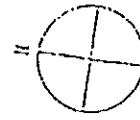
5. Monitoring

The Team explained the importance of the monitoring with appropriate indicators for the proper operation of the medical equipment and suggested that the Cambodian side will organize a committee for monitoring. And the Cambodian side agreed to organize a committee.

ANNEX-I NECESSARY MEASURES TO BE TAKEN BY THE ROYAL GOVERNMENT OF CAMBODIA ON CONDITION THAT JAPAN'S GRANT AID IS EXTENDED;

1. To provide data and information necessary for the implementation of the Project.
2. To secure the land for the site of the Project, and demolish the structure above grade of the existing buildings in the site prior to the commencement of the construction works.
3. To bear the following commissions to the Japanese foreign exchange bank for the banking service based upon the Banking Arrangement:
 - 1) Advising commission of the Authorization to Pay (A/P)
 - 2) Payment commission
4. To ensure prompt unloading and customs clearance at the port of disembarkation in Cambodia and internal transportation therein of the products purchased under the Grant.
5. To accord Japanese nationals whose services may be required in connection with the supply of the products and services under the verified contracts, such facilities as may be necessary for their entry into Cambodia and stay therein for the execution of the Project.
6. To exempt Japanese nationals involved in the Project from customs duties, internal taxes and other fiscal levies which may be imposed in Cambodia with respect to the supply of the products and the services under the verified contracts.
7. To bear all the expenses, other than those to be borne by the Grant, necessary for the Project.
8. To coordinate and solve any issues related to the Project which may arise with third parties and/or inhabitants living within and/or around the site.
9. To confirm the security and safety of Japanese nationals related to the Project.

ANNEX - II



4. 社会・経済事情

1994.08 1/2

国名	カンボジア
	CAMBODIA

一般指標			
政体	移行期	*1	面積
元首	Chairman NORODOM SIHANOUK	*1	181.0 千Km ²
独立年月日	1949年11月09日	*1	人口
人種(部族)構成	クメール人90%	*1	9,898 千人 (1993年)
言語・公用語	カンボディア語	*1	首都
宗教	小崇仏教95%	*1	プノンペン
国連加盟	1955年12月	*1	主要都市名
世銀・IMF加盟	1970年07月	*1	バ'ン'タ'ン、シムレ'、カン'ン'サ'ム
		*1	経済活動可人口
		*1	2,800 千人 (1988年)
		*1	義務教育年数
		*1	2 (1992年)
		*1	初等教育就学率
		*1	— % (0000年)
			識字率
			35.0 % (1990年)
		*1	人口密度
		*1	49.0 人/Km ² (1992年)
		*1	人口増加率
			4.41 % (1993年)
			平均寿命
			平均 49.06 男 47.6 女 50.6
			5歳児未満死亡率
			111.5/1000 (1993年)
			カロリー供給量
			2,120.0 cal/日/人 (1990年)

経済指標			
通貨単位	リエル	*1	貿易量
為替レート(1USS)	1USS= —	*3	輸出
会計年度	1月～12月	*1	— 百万ドル
国家予算	—	*2	輸入
歳入	— 百万	*2	— 百万ドル
歳出	— 百万	*2	輸入カバー率
国際収支	— 百万ドル	*2	— %
ODA受取額	148.00 百万ドル (1992年)	*2	主要輸出品目
国内総生産(GDP)	— 百万ドル	*2	天然ゴム、米、胡椒、木材
一人当たりGDP	200.0ドル (1991年)	*2	主要輸入品目
GDP産業別構成	農業 — %	*2	国際食料援助、燃料、消費財
	鉱工業 — %	*2	日本への輸出
	サービス業 — %	*2	9.0 百万ドル (1992年)
産業別雇用	農業 74.0 %	*2	日本からの輸入
	鉱工業 7.0 %	*2	227.0 百万ドル (1992年)
	サービス業 19.0 %	*2	外貨準備総額
経済成長率	— %	*2	— 百万ドル
		*2	対外債務残高
		*2	— 百万ドル
		*2	対外債務返済率
		*2	— %
		*2	インフレ率
		*2	108.1 % (1992年)
		*2	国家開発計画
		*2	第2次5ヵ年計画 1991年～1995年

気象(年～? 年平均) 場所: Phnom Penh (標高 12m)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	平均/計
最高気温	31.0	32.0	34.0	35.0	34.0	33.0	32.0	32.0	31.0	30.0	30.0	30.0	32.0 °C
最低気温	21.0	22.0	23.0	24.0	24.0	24.0	24.0	25.0	25.0	24.0	23.0	22.0	23.4 °C
平均気温	26.0	27.0	28.5	29.5	29.0	28.5	28.0	28.5	28.0	27.0	26.5	26.0	27.7 °C
降水量	7.0	10.0	40.0	77.0	134.0	155.0	171.0	160.0	224.0	257.0	127.0	45.0	1407.0 mm
雨期/乾期	乾	乾			雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨		

- *1 The World Factbook(C.I.A)
- *2 Human Development Report(UNDP)
- *3 International Financial Statistics(IMF)
- *4 World Debt Tables(WORLD)
- *5 最新世界各国要覧(東京書籍)

国名	カンボジア
	CAMBODIA

*6

項目	年度	1989	1990	1991	1992
無償資金協力		2,043.46	2,382.47	2,515.70	2,699.97
技術協力		2,146.74	1,989.63	2,050.70	2,194.95
有償資金協力		5,161.42	5,676.39	7,364.47	5,852.05
総 額		9,351.62	10,048.49	11,930.87	10,746.97

*6

項目	暦年	1989	1990	1991	1992
無償資金協力		0.16	0.15	0.48	4.06
技術協力		1.81	0.00	0.00	0.65
有償資金協力		0.00	0.00	0.00	0.00
総 額		1.97	0.15	0.48	4.71

*7

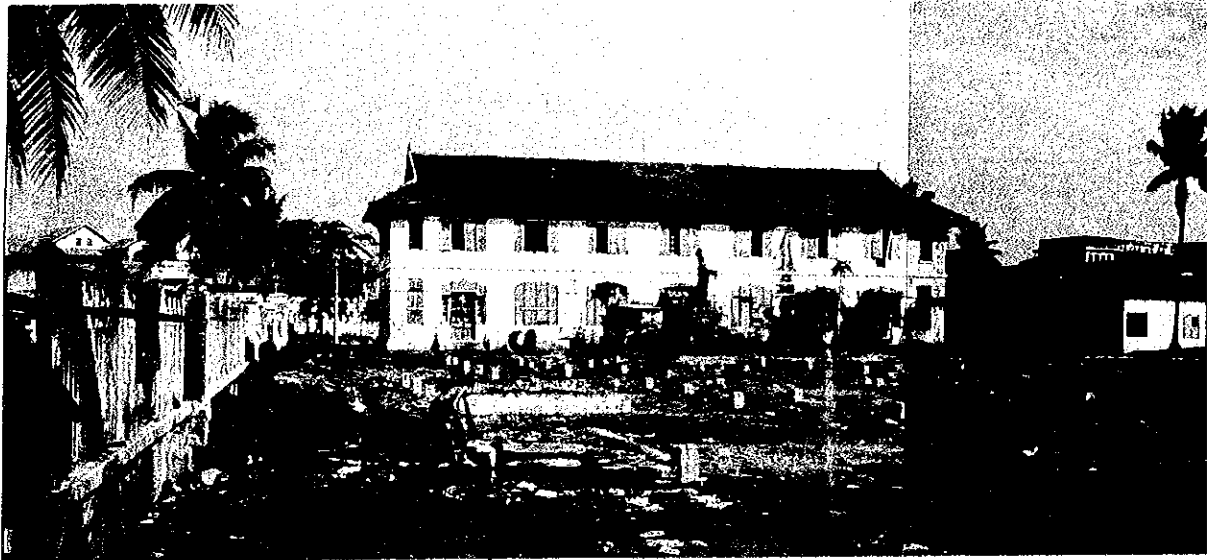
	贈 与 (1)		有償資金協力 (2)	政府開発援助 (ODA) (1) + (2) = (3)	その他政府資 金及び民間資 金 (4)	経済協力総額 (3) + (4)
		技術協力				
二国間援助 (主要供与国)	94.80	41.30	0.00	136.10	0.00	136.10
1. スウェーデン	18.50	0.00	0.00	18.50	0.00	18.50
2. オランダ	13.60	6.90	0.00	20.50	0.00	20.50
3. アメリカ	13.00	11.00	0.00	24.00	0.00	24.00
4. ドイツ	10.20	6.50	0.00	16.70	0.00	16.70
多国間援助 (主要援助機関)	112.00	66.80	-0.60	178.20	0.00	178.20
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
そ の 他	54.60	22.20			0.00	
合 計	261.40	130.30			0.00	

*8

技術	各省→計画省→関係評議会→外務省
無償	
協力隊	

- *6 我が国の政府開発援助(外務省)
 *7 海外経済協力便覧(海外経済協力基金)
 *8 国別協力情報(JICA)

3. 建設予定地現況 PHOTOS OF PROJECT SITE



A Building Under Demolition On The Site 解体中



View From The Northwest Corner 敷地全体



Demolition Work 解体中

JICA